

## 平成28年度第3回沼津市立図書館協議会 議事録

日 時 平成28年11月8日(火) 14:00～16:00

出席者

委員9名：匂坂会長、荒木副会長、猪浦委員、片渕委員、川口委員、神田委員、  
高地委員、門間委員、山田委員（委員一名欠席）

事務局5名：杉山館長、芹澤事務長、後藤補佐、指田係長、高草主事  
傍聴人12名

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

会 長：10月30日に行われた沼津市長選で市長が交代となり、本協議会での協議事項の前提  
が変更になる可能性がある。新市長の就任にあたり、予定していた選挙後の市長と  
の面会については白紙とすることをご了承願いたい。

### 3 案 件（進行は会長による）

#### (1) 視察結果を受けての今後の図書館運営について

（事務局説明）

会 長：今回の視察先は、直営以外で運営している図書館から選定した。武蔵野プレイスは  
非公募による指定管理者、府中市立中央図書館は建設を発注した事業者が作った事  
業体が運営している。いずれも市の直営でない点が共通している。各委員からの感  
想や意見をお願いしたい。

委 員：お金がかかっている感じがした。最新鋭の機械が導入されており、誰とも会話せず  
貸し借りできるが人間的ではない図書館だと感じた。機械に頼って若い職員が経験  
を積めるのか疑問に思った。武蔵野プレイスは、BGMや食べ物のにおいてデパー  
トのよう。平日の昼間なのに高校生と思われる若者がたくさんいた。居場所は大切  
だと思うが、図書館としての居場所のあり方を考える必要がある。府中は自動書架  
があり、機械に組み込まれ、人が関わらない図書館という印象。本と人が繋がる図  
書館について考えさせられた。

委 員：児童コーナーにも自動貸出機があり驚いた。コミュニケーションスキルをつける上  
ではどうかと思うが、思春期の世代には借りやすくてもいいかもしれない。お金がか  
かっている機械化が進んでいる。沼津の図書館で人に対応してもらえてほっとした。

委 員：大都会ならではの図書館であった。沼津でそのまま導入したら、自分は来なくなる  
と思う。にぎわいはあるが、かえって疎外感を感じた。図書館は、人、本、作家と  
の出会いが基本ではないか。沼津の図書館は市民の図書館であって欲しい。

- 委員：いずれもお金がなくては作れない図書館だった。武蔵野プレイスは、人が行き交い落ち着きがない印象。清潔な感じがせず、本に食べ物のにおいがつくのではと思った。学習室には仕切りが無かった。府中も昼間なのに高校生が多かった。フロアを分けてレストランを設置するのはいいと思った。学習室は仕切りがあっていいと思った。どちらも沼津の図書館のようにアカデミックな感じがせず、機械化しすぎている感じがした。
- 委員：人が多く、にぎやかな印象だった。複合施設なので、図書館以外の利用価値を求めて人が集まっている感じ。すごいと思ったが、沼津にはかち合わない印象。
- 会長：人が多すぎる、落ち着かない印象。指定管理、PFIを導入するメリットが1回訪れただけでは分からなかった。公募ではないという点で武蔵野プレイスはうまいと思った。ただ、沼津でできるものでもない。
- 委員：視察に行けなかったが、小学生が利用するコーナーの雰囲気はどうだったか。
- 委員：視察先でも幼児が利用するところもあるが、追いやられている感じ。沼津は恵まれているという印象を持った。
- 委員：各学校に調べ学習の本を貸出す出張図書館のようなものを行っているようだった。
- 委員：視察に行かなかったが、収支はどうか。
- 会長：資料は以前もらっている。後で確認する。
- 委員：武蔵野市は市内に3つの図書館があるが、うち1館(中央図書館)に保存機能を持たせている理由はあるのか。
- 会長：立地の問題、機能的問題があるのでは。
- 委員：武蔵野市の人口はどのくらいか。
- 事務局：約14万4千人。武蔵野プレイス以外の中央館、吉祥寺館は直営。
- 委員：人口14万に対し3つの図書館でそれぞれ機能があるというのは魅力だと思う。図書館に人を集めるために施設を作ったのか、人が集まるところに図書館はあるべきだという点で作ったのか。
- 事務局：両方の相乗効果を目指しているのだと考えられる。
- 委員：駅に近いので武蔵野市以外のサラリーマンも利用しているようだった。
- 会長：入館者数は、武蔵野プレイスでは年間約175万人、府中では約87万3千人、沼津は約41万4千人。
- 委員：施設周辺の交通事情はどうか。沼津は交通安全の面が足りない、以前から言われている駐車場の問題もあるが。
- 会長：武蔵野プレイスが開館し、吉祥寺駅の隣の武蔵境駅に立ち寄る人が増えたようだ。
- 委員：東京は車より自転車で動く人が多いので、武蔵野は駐輪場の問題で悩んでいるようだった。吉祥寺は住みたいまちランキング1位であったし、近くに寄りかてら待ち合わせしたくなる場所だと思った。
- 委員：視察には行けなかったが、沼津市立図書館が本来の図書館のあり方だと思うし、皆さんがそれを望んでいるように感じた。他を知ることによって沼津らしさを見つけるための参考になった。複合施設は要求されているものだが、図書館は図書館であって欲しいと思う。

## 4 その他

### (1) 第1回協議会での未回答事項について

(相互利用登録者数、利用状況他市町比較について事務局説明)

会 長：他市町比較について、事務局としてはどう分析しているか。

事 務 局：県内市での冊数比較（千人あたり）では下位。富士市、三島市は貸出し冊数が7,000冊を越えている状況。

沼津市の状況は、貸出冊数は年々減っているものの、貸出利用者数は増加。インターネット等の利用が増える中で、本を読む時間が短いのか。読み切れる冊数だけ借りていると推察。

### (2) アンケート結果について

(事務局説明)

会 長：問4の2番・7番は、若者の居場所としての図書館利用の需要と推測するとあるが、どんな場所をイメージしているか。また、無料Wi-Fiはということか。

事 務 局：図書館でガイドブックを見ながら旅行の打合せや図書館資料を用いた学習等議論する場として考えている。無料Wi-Fiについては、本以外にスマートフォン等を用いて情報を収集したいという要望だと認識している。

委 員：アンケートの配付方法は。

事 務 局：市立図書館来館者に玄関で直接手渡し、記入後投函箱に無記名で投函してもらった。6日間行った。

委 員：図書館にミーティングルームはあるか。

事 務 局：ミーティングルームではないが、4階ランチルームがある。

委 員：ランチルームでは、他の利用者の迷惑にならない範囲で話すことは可能か。

事 務 局：可能である。

会 長：本の持込みは可能か。

事 務 局：貸出を受けた本であれば可能である。

委 員：館内OPAC検索に不便を感じる。家でインターネット検索するのに比べ、ヒット件数が少ないことがある。改善をお願いしたい。

事 務 局：沼津市ではコストを考慮し、図書館システムはオーダーメイドではなくパッケージ品を導入している。トータルで一番良い製品を選定しているため、機能によっては劣ることもある。不具合については、メーカーへその都度改善要望している。

会 長：問2のうち、開館時間に対する不満が13%程度と意外と少ないがその点はどうか。

事 務 局：今回は開館時間中に訪れた人に対するアンケートなので、不満がある人は少ないのは当然だと思う。

委 員：アンケート回答者に世代などの記入を求めた方が具体的に分析できると思うが。

事 務 局：今回はプライベートな項目を設けると回答率が低くなると考え、あえて記入を求め

なかった。次回実施の際には検討したい。市民の声で開館時間等についてご意見いただくことはある。

会 長：アンケートはどのくらいの頻度で行っているのか。

事 務 局：直近では、平成24年度に郵送で市民に対しアンケート調査を行った。

会 長：それと今回と比較する必要があるのでは。今回の回答率はどのくらいか。

事 務 局：配付した方の約8割が回答に好意的だった。約1割は回答に非協力的、残りの1割は急いでいる等の理由で回答いただけなかった。

会 長：調査票を渡した数は300件くらいか。

事 務 局：渡した数は、ほぼ回答していただいている。白紙は2、3件あったが、219件は回答していただき回収した件数である。

委 員：出来るだけ早く新市長の図書館に対する考え方を聞きたいが可能か。

会 長：就任してすぐ結論は出ないと思うが、教育委員会には急ぐよう働きかけをお願いしたい。方針が出ないと話し合う意味がない。協議会というものは、市の方針があってそれに対して意見を求められる立場であると認識している。

委 員：その場合の図書館協議会の存在はどう考えるか。

会 長：新聞では図書館協議会以外に図書館の運営を考える場が必要だと書かれていたが、真意が分からない。それも含めて市としての考え方を示してもらいたいと思う。

事 務 局：事務局側にもまだ情報がなく、スケジュールも未定。連絡が入り次第、皆様にもお知らせする。

委 員：就任前であっても、公に話したことは尊重されるべきだと思う。そういう解釈でよろしいか。

委 員：市長交代により面会が白紙になることは理解したが、計画が白紙になることはおかしい。

事 務 局：第3次行政改革プランに沿って進めるところだが、新市長の方針が示されるまでは待たなければならない。本来、行政は継続が原則。ただ、個々の政策については考え方が異なる。今回、市長選の争点の一つとして、新聞紙面で図書館の指定管理者制度導入が取り上げられた。今は状況判断を待っている。事務局が方針について話すことは出来ない。

委 員：協議会として市長の意見を聞くことも必要ではないか。

会 長：協議が前進するよう、事務局から働きかけをお願いしたい。

委 員：地区センターの充実や自動車文庫のステーション廃止、抜本を進めている等指定管理者制度導入に向けて図書館が進めていることもお聞きしたい。

事 務 局：指定管理者制度導入に向けて進めているわけではない。これまでなかなか出来なかった作業を行っているもの。蔵書も毎年7千冊位ずつ増えているので、それを収める書架も一杯なため、抜本は定期的に行わなければならない。

委 員：図書館大会のライブトークでも話題に出たが、手に取らない本にも価値があり、古い本だから抜本するのではなく独自のコレクションをする等抜本の基準はあるのか。昨年度、協議会で挙げられた書庫を作るという話はどうなったのか。

事 務 局：書庫の件は、市の公共施設マネジメントの面からも、現時点では設置は難しいとお

話ししたと認識している。必要と思うが費用面で難しい。自動車文庫については、利用者が固定化されている状況なので、利用を高める必要があること、さらに、生活環境が変わり、自動車文庫を快く思う方ばかりではないこと、警察の道路許可を受けるのが難しくなっている場所もあり、利用率などを基にステーション数を減らしていく。1台分を減らす代わりに、地区センター図書室を充実させて、サービスの向上を目指していきたい。指定管理とは別問題。

(抜本の基準は無い。除籍は除籍基準に基づき行っている。)

委員：学校図書室と市立図書館との繋がっていない。図書館システムの検索が学校で出来たらいい。

事務局：図書館ホームページから検索は可能。

委員：小中学校は学校司書がいるので、司書に言えば図書館にあるか調べてもらえる。

委員：市立図書館を経由せず、学校図書室で他図書館から直接借受けできたらいい。

委員：指定管理者制度導入後の臨時職員の雇用についての文書を出しているが、どう考えているのか。

事務局：内部文書である。雇用のことについて臨時職員が心配しているという意見があったので、導入した場合の予定について説明したもので。

会長：今は、まだ方針が決定されていないので、その議論はひかえていただきたい。

委員：以前図書館協議会で指定管理導入について議論した経緯が分かる議事録を見たいと事務局にお願いしたが、記録が残っていないと言われた。今後はきちんと残して欲しい。また、予算の都合や時間の制約はあると思うが、協議会開催は年2回では少ないように思う。他の自治体では2ヶ月に1度図書館協議会を開催しているところもあると聞いた。

会長：事務局に検討をお願いしたい。

## 5 閉 会